資料１

議題 令和８年度主要事業の取組状況等について

富山市では、令和８年３月に中間見直しを行った「第２次富山市スポーツプラン（R３～R12）」に位置づけた６つの基本施策に基づき、スポーツ事業の推進に取り組んでいる。

１　第２次スポーツプランの施策体系

基本理念	基本目標	基本施策
スポーツに親しみいつまでも健康で豊かに暮らすまちづくり	①スポーツ活動の充実 ②スポーツ拠点の整備・充実	①生涯スポーツの推進
		②競技スポーツの推進
		③学校における体育・運動部活動等の充実
		④スポーツの拠点づくり
		⑤スポーツ指導者と組織の育成
		⑥スポーツを通じた地域の活性化

２　基本施策

（１）生涯スポーツの推進

ア．子どものスポーツライフの推進

子どもの体力及び生活習慣の現状を把握するとともに、教育委員会や（公財）富山市スポーツ協会等と連携し、子どもの体力向上事業や運動指導者育成事業を実施する。

＜主な事業内容＞

①健康・体力つくり事業（予算額：400 千円）

・こども運動あそびプログラム

コオーディネーション能力を向上させる体験会を６月に実施（未就学児、小学生 134 名参加）。

※令和９年２月に２回目を実施予定。



≪こども運動遊びプログラム≫

・おやこで運動あそび（市内９施設）

親子で運動の楽しさを感じる「運動遊び」を通年で週末参加型で開催

・子どもスキー、スノーボート教室

小学３～６年生を対象に、１月（スキー）、２月（スノーボート）開催予定。

※スノーボート教室の講師に、広野あさみさんを予定。

イ．若者・中高年者のスポーツライフの推進

中年期における身体活動や運動について意識を向上させ、運動を行う機会の提供やスポーツの普及・啓発活動を（公財）富山市スポーツ協会等と連携し、実施する。

＜主な事業内容＞

①健康・体力つくり事業（予算額：400 千円）≪再掲≫

・大人の体力・運動能力測定会

６月、７月、９月に実施し、計 139 人が参加。

※10 月、11 月にも開催予定。

・（新規）大人の部活（モルック部）

アイザックスポーツドームで、９～11 月にかけて全８回のモルック活動を実施。

・（拡充）女性ヘルシーセミナー

働き盛り世代の女性をターゲットに、健康で美しい身体つくりを目指すヨガやエアロビクス、筋トレ、栄養士監修の食事提供&講座を開催。

※５～７月に各月 1 回実施し、計 104 名参加



≪女性ヘルシーセミナー≫

②市民スポーツ・レクリエーション祭事業（予算額：1,200 千円）

・ニュースポーツ体験会の開催

５月３１日に、体育文化センターでボッチャ、カローリング、モルックの体験会を開催（49 名参加）。

・（新規）モルック体験・交流大会の開催

９月６日に、グランドプラザでモルックの交流試合を初めて開催（18 チーム 51 名参加）。

※11 月にも、YKK AP アリーナで実施予定。



≪モルック交流大会≫

・ニュースポーツ交流会の開催

１０月１８日に体育文化センターでボッチャ、モルックの交流試合を開催予定。

※ボッチャ：16 チーム 96 名、モルック：18 チーム 72 名募集

③（新規）アーバンスポーツ魅力発信・普及促進事業（予算額：2,700 千円）

・市内３つのアーバンスポーツ施設（３×３バスケットボールコート、ストリートスポーツパーク、マウンテンバイクコース）を活用し、体験会や大会の開催を通じて、若者に人気のアーバンスポーツと魅力発信と普及促進を図る。

種目（会場）	体験会	大会
３x３バスケットボール （屋外バスケットボールコート）	７月開催（14 名参加） ※年間４回予定	１１月開催予定
スケートボード （ストリートスポーツパーク）	９月に２回開催（55 名参加） ※年間４回予定	１１月開催予定
マウンテンバイク・ＢＭＸ （久婦須側ダム周辺広場ﾏｳﾝﾃﾝﾊﾞｲｸｺｰｽ）	７、10 月開催（20 名参加） ※年間４回予定	７月開催（41 名参加）

※１１月下旬に、ストリートスポーツパークにおいて、ダンス大会やアーバンスポーツを体験できる市民参加型イベント「TOYAMA ストリートスポーツ FES2026」を初めて開催予定



≪3x3 バスケ体験会≫



≪スケートボード体験会≫



≪MTB 体験会≫

ウ．高齢者のスポーツライフの推進

高齢者向けの運動・スポーツプログラムの普及啓発を図るとともに、身近な地域で気軽に活動できる環境づくりを推進する。

＜主な事業内容＞

①健康・体力つくり事業（予算額：400 千円）≪再掲≫

・スマイル元気セミナー

高齢者の運動習慣化を目的としたセミナーの開催

・高齢者の健康体力つくり指導者講習会

専門講師を招聘し、高齢者が元気で充実した日常生活を送る身体づくりのための指導者の資質向上を図る講習会を開催（７月実施、37 名が参加）。

※11 月も YKK AP アリーナで実施予定。



≪高齢期指導者講習会≫

エ．誰もが参加できるインクルーシブなスポーツの推進

（ｉ）ウオークの推進

手軽に取り組むことが可能な「ウオーク」を通じ、体力向上、健康増進を図る。

＜主な事業内容＞

①健康ウオークの開催事業（予算額：800 千円）

項　目	コース
さくらウオーク　（４月：776 人）	富岩運河環水公園～市役所（5km と 11km）
呉羽丘陵ウオーク（10 月:389 人）	呉羽丘陵（ﾌｧﾐﾘｰﾊﾟｰｸ）周辺（4.8 kmと６km）

※車イスも参加できるコースを設定

②親子トレッキング事業（予算額：308 千円）

・自然の大切さや、歩くことの素晴らしさを体験してもらうことを目的に、６月～１０月に親子で実施する立山周辺のトレッキング費用に対して一部を支援する。
（※９月末で６組支援）



≪親子トレッキング事業≫

（ii）障害者スポーツの推進

障害の有無にかかわらず、多様な人々が参加できるインクルーシブなスポーツ環境づくりを推進する。

＜主な事業内容＞

①市民スポーツ・レクリエーション祭（予算額：1200 千円）≪再掲≫

特別支援学校等のチームによるボッチャ、モルック交流会などを実施

②障害者スポーツ推進事業（予算額：500 千円）

新たに障害者スポーツの普及促進を図るための団体の設立・運営や、競技団体における新たな障害者スポーツの普及促進部門の立ち上げに必要となる費用を支援。

（ア）障害者スポーツ団体設立・運営補助　（※R6 に１件実績あり）

[対象]障害者スポーツの普及促進を図るため新たに設立した団体

[金額]300 千円以内（１団体３年間。補助率４/５）※２年目以降は、200 千円以内

（イ）障害者スポーツ部門運営補助

[対象]富山市スポーツ協会に加盟する団体

[金額]300 千円以内（１団体１回、初年度のみ）

（ウ）（新規）普及啓発・理解促進事業

・スポーツ推進委員の資質向上を目的とした研修会に、デフサッカー日本代表選手の松本氏を講師に招き、講演及び実技体験を実施予定（11 月）。

・本市と連携協定を締結している、あいおいニッセイ同和損保㈱と連携し、小学校での出前講座「障害者スポーツ体験・講習会」を実施。

※車椅子バスケやボッチャの体験など

オ．スポーツにおけるデジタル技術やデータの利活用の推進

デジタル技術等を利活用し、市民がスポーツに参加できる環境づくりを推進する。

＜主な事業内容＞

①スポーツＤＸ推進事業（予算額：3,229 千円）※Ｒ８年度新規

・（新規）スマートロックシステムの導入

北部錬成館にスマートロックを実証的に導入する。

・（新規）スポーツ施設デジタルブックの制作

合宿や大会等、県外利用者の使用が期待される、市内１６のスポーツ施設の情報を集約化し、視覚的にも分かりやすいデジタルガイドブックを制作する。



≪デジタルガイドブック≫

【指標の進捗状況】

項目名	基準(年度)	R7 年度実績	進捗状況	目標(R12 年度)
成人の週１回以上のスポーツ実施率	49.0%（R2）	50.2%	―	65.0%以上
スポーツをすることが好きな児童生徒の割合（※）	《児童》 男子：66.1%（R2） 女子：57.1%（R2） 《生徒》 男子：61.4%（R2） 女子：38.5%（R2）	《児童》 男子：73.0% （全国平均 72.7%） 女子：56.3% （全国平均 54.1%） 《生徒》 男子：67.9% （全国平均 66.4%） 女子：42.4% （全国平均 43.0%）	 【達成】 【達成】 【達成】 ―	《児童》 男子:全国平均以上 女子:全国平均以上 《生徒》 男子:全国平均以上 女子:全国平均以上
ウオークイベントの参加者数	1,826 人（R1）	2,407 人	―	3,000 人以上

※目標の全国平均は、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（文部科学省）における全国平均。

※令和２年度は全国調査未実施のため、市独自で調査したもの。

（２）競技スポーツの推進

ア．競技力の向上（ジュニア選手と富山市を代表するスポーツの育成）

全国や世界で活躍するジュニア選手の育成・強化を目指し、各競技団体、学校、地域と連携しながら、引き続き支援する。

＜主な事業内容＞

①ジュニア競技力向上事業（予算額：11,798 千円）

・ジュニア選手の競技力向上を目的に、競技種目ごとにレベル・目的に応じた強化事業（基本強化 25 競技、特別強化 16 競技、県体強化 16 団体）を実施。

②指導者招聘事業（予算額：650 千円）

・８年度は、ヤマハ硬式野球部監督の申原　直樹氏と選手を招き、野球の技術や指導者の指導力向上を図る。（11 月実施予定）

③ドリームアスリート交流事業（予算額：200 千円）

・富山市出身のトップアスリート（磯野あずささん、福島聖さん、村上英士朗さん、稲葉悠介さん、横嶋彩さん、広野あさみさん）を小中学校へ招き、講演会の実施や交流を図る。

※９月 15 日時点で 18 の小学校で実施。



≪ドリームアスリート交流事業≫

④スポーツ大会派遣事業（予算額：12,367 千円）

・全国規模等の大会へ出場する監督、選手へ激励費を支給。また、優秀な成績を収めた選手には報奨金を支給。

イ．組織の充実

スポーツ振興における各種事業を実施し、市のスポーツ振興の中心的役割を担っている富山市スポーツ協会加盟団体に引き続き補助を行う。（予算額：9,359 千円）

【指標の進捗状況】

項目名	基準（年度）	R7 年度実績	進捗状況	目標(R12 年度)
国民スポーツ大会等出場者数	1,470 人（H30）	1,373 人	―	1,560 人以上
国民スポーツ大会等優勝競技数	7 競技（H30）	12 競技	【達成】	10 競技以上

（３）学校における体育・運動部活動等の充実

ア．生きる力をはぐくむ体育・スポーツの推進

イ．体育・運動部活動等を行うための環境整備

子どもの体力及び生活習慣の現状を把握するとともに、教育委員会、富山市小学校スポーツ推進連盟、（公財）富山市スポーツ協会等と連携し、子どもの体力向上事業や運動指導者育成事業を実施する。

また、小学校の教員を対象とし、体育科の授業における安全指導、質の向上を目的とした講習会を行う。

＜主な事業内容＞

①スポーツ指導員派遣事業（予算額:720 千円）

・正しい身体の使い方の習得や体力向上を目指し、器械体操やボール運動など専門的な知識をもつ指導者を小学校等に派遣。※1 学期 22 校、２学期 25 校予定



≪スポーツ指導員の派遣≫

・（新規）三井住友海上火災保険㈱との連携事業

富山市との包括連携協定に基づき、同社の陸上部のアドバイザーを務める、**元オリンピアンで世界陸上のメダリストでもある土佐礼子さんを講師に招き**、小学校（西田地方小、大沢野小）で特別授業を実施（10 月）。

ウ．休日の運動部活動の地域展開等

国の動向に注視しつつ、休日の部活動の地域展開等に関し、行政と関係団体、学校関係者等による協議会において、課題の解決と必要な施策について協議を行う。

【指標の進捗状況】

項目名	基準（年度）	R7 年度実績	進捗状況	目標（R12 年度）
体育の授業を楽しいと思う児童生徒の割合（※）	《児童》 男子：62.2%（R2）	《児童》 男子：72.8% （全国平均 73.7%）	－	《児童》 男子:全国平均以上
	女子：55.3%（R2）	女子：54.7% （全国平均 56.9%）	－	女子:全国平均以上
	《生徒》 男子：57.0%（R2）	《生徒》 男子：59.2% （全国平均 56.8%）	【達成】	《生徒》 男子:全国平均以上
	女子：44.8%（R2）	女子：37.9% （全国平均 38.0%）	－	女子:全国平均以上
運動部に所属している生徒の割合（※）	男子：70.5%（R2）	男子：68.7% （全国平均 67.6%）	【達成】	男子:全国平均以上
	女子：48.1%（R2）	女子：59.4% （全国平均 52.7%）	【達成】	女子:全国平均以上

※目標の全国平均は、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（文部科学省）における全国平均。

※令和２年度は全国調査未実施のため、市独自で調査したもの。

（４）スポーツの拠点づくり

ア．市営スポーツ施設の充実

＜主な事業内容＞

①拠点スポーツ施設の長寿命化（予算額：129,100 千円）

・スポーツ施設ＬＥＤ化（アイザックスポーツドーム、体育文化センター庭球場、東富山運動公園庭球場）
・八尾ゆめの森テニスコート人工芝改修業務
・体育文化センター屋根防水加工業務
・山田総合体育センター正面通路舗装整備業務など

②市総合体育館Ｒコンセッション事業（設計・改修・運営・維持管理を一体的に実施）

富山市総合体育館の改修工事を完了し、『YKK AP アリーナ』として令和８年 10 月１日にリニューアルオープンし、運営を開始。

③東富山温水プール整備事業

老朽化が著しい東富山温水プールについて、現在の場所での建て替えに向けて、基本計画の策定と整備手法の検討を実施



≪東富山温水プール≫

イ．市立学校体育施設の開放

市民のスポーツ活動の場を確保するとともに、健全な団体活動の促進及びスポーツの振興を図り、健康増進につなげるため、学校体育施設を市民の使用に供する。

＜主な事業内容＞

①夜間照明、防球ネット等改修事業（予算額：57,500 千円）

・学校グラウンド照明のＬＥＤ化（太田小、山室中部小、萩浦小、豊田小）
・バックネットの更新（八幡小、長岡小）
・防球ネットの設置（西田地方小）　など

【指標の進捗状況】

項目名	基準（年度）	R7 年度実績	進捗状況	目標（R12 年度）
市営スポーツ施設等の年間利用者数	285 万人（R1）	216 万人（R7）	－	300 万人以上
市営体育館の年間稼働率	42.9%（R1）	48.9%（R7）	【達成】	45.0%以上

（５）スポーツ指導者と組織の育成

ア．スポーツ指導者の育成

幅広い年齢層を対象に、各世代の身体特性に応じた理論と指導技術を習得するため資格（健康運動指導士等）取得やスキルアップのほか、ジュニア選手の競技力向上を目的に、指導者の資質能力向上を図る。

＜主な事業内容＞

①指導員資質向上事業（予算額：80 千円）

②ジュニアアスリート指導者研修会開催事業（予算額：80 千円）

イ．スポーツ指導者の活用

国内トップレベルの指導者を招聘し、最新の競技技術や指導技術について講義、実技指導を仰ぎ、市内選手の競技力と指導者の指導力の向上を図る。

①指導者招聘事業（予算額：650 千円）※再掲

ウ．組織の育成

スポーツ振興に資する取組を行う各種団体等について、支援を行う。

＜主な事業内容＞

①市スポーツ少年団への事業補助（3,000 千円）

②市スポーツ推進委員協議会への事業補助（800 千円）

【指標の進捗状況】

項目名	基準（年度）	R7 年度実績	進捗状況	目標（R12 年度）
スポーツ推進委員の活動参加率	15.7% (R1)	19.5%	ー	30.0%以上
総合型地域スポーツクラブの会員数	9,925 人 (R1)	7,188 人	ー	11,000 人以上

（６）スポーツを通じた地域の活性化

ア．地域のスポーツ文化の形成

大規模なスポーツイベント等を契機として、市民参加型のイベントや関連イベントを展開し、スポーツを核とした地域の一体化の醸成と持続的な地域活性化を図る。

・マイナビオールスターゲームの開催

７月 29 日（水）富山市民球場にて、「マイナビオールスターゲーム 2026(第２戦)」が開催され、富山県内外から多くの方が球場へ足を運んだ（入場者数 19,158 人）



≪オールスターゲーム≫



≪球場周辺イベント（BEYOND OH！）≫

イ．地域に密着したプロスポーツチームへの支援

＜主な事業内容＞

①プロスポーツチーム支援事業（予算額：72 千円）

・地元スポーツチームとの連携

スポーツを通じたまちづくりを推進し、地域の発展を図るため、㈱富山グラウジーズと連携協力協定を締結（令和８年９月２日）。

※カターレ富山とは令和３年度に締結済。



≪グラウジーズとの連携・協定の締結≫

ウ．地域のスポーツイベントやスポーツ拠点の活用

スポーツイベントは、スポーツを「する」機会の提供に加え、それを「みる」人、スタッフ等の「ささえる」人など、多くの人が「つながり」交流する機会を創出するため、大会・イベントの開催、誘致等を行う。

＜主な取組内容＞

①プロスポーツ等の誘致、開催支援

②市内開催のスポーツ大会の開催支援

③富山県スポーツコミッションとの連携

④（新規）ランニングコミュニティ推進事業

㈱富山グラウジーズと連携し、YKK AP アリーナを拠点に活動する「ランニングコミュニティ」を新たに立ち上げ、スポーツを通じた自然な出会いや交流の場を提供する。



≪ランニングコミュニティ≫

エ．YKK AP ARENA を拠点としたまちなかの賑わい創出

YKK AP ARENA を拠点として、周辺施設や公共空間と連携した賑わい創出に取り組む。

・YKK AP PRESENTS BLACK SAMURAI 富山 Homecoming の開催

８月 22 日（土）、富山市出身の NBA 選手の八村塁選手の公式凱旋イベントが初開催され、アリーナや親水広場周辺に約６万人が来場した。



≪バスケットボールクリニック≫



≪スペシャルトークイベント≫



≪当日の親水広場≫



≪当日のプールバール≫

・第７回わんぱく女子相撲全国大会の開催

９月 20 日（日）、YKK AP アリーナで全国の予選を勝ち抜いた小学４～６年生の女子が学年別のトーナメント戦で熱戦を繰り広げた。


≪アリーナに設置された土俵≫


≪大会の様子≫

オ．地域のスポーツ情報の提供

いつでも、どこでも、スポーツに参画する人が期待するスポーツ情報を閲覧又は取得できるよう、スポーツ情報へのアクセス改善を図る。

＜主な事業内容＞

①広報とやま等でのイベント情報の提供

②富山県公共施設予約システムの導入・活用

富山県主導で共同調達した富山県公共施設予約システムを令和７年６月から導入。

現在、富山市のほか富山県・高岡市・滑川市・朝日町が参加し、文化施設や公園等の予約管理も可能。なお、YKK AP アリーナは、独自システムで運用。

【指標の進捗状況】

項目名	基準(年度)	R7 年度実績	進捗状況	目標（R12 年度）
地域のプロスポーツの観戦率※１	《競技場等》 成　　人： 7.1%（R2） 児童生徒：32.8%（R2） 《テレビ等》 成　　人：11.5%（R2） 児童生徒：29.5%（R2）	《競技場等》 成　　人： 12.6% 児童生徒：27.2% 《テレビ等》 成　　人：20.9.% 児童生徒：23.6%	【達成】 ー 【達成】 ー	《競技場等》 成　　人：10.0%以上 児童生徒：35.0%以上 《テレビ等》 成　　人：15.0%以上 児童生徒：35.0%以上
スポーツを通じた交流に意義を感じている人の割合※２	26.1%（R2）	26.3%	ー	30.0%以上

※１「スポーツに関する市民意識調査」（富山市）において、直近１年間に地域のプロスポーツ（富山 GRN サンダーバーズ（野球）、カターレ富山（サッカー）、富山グラウジーズ（バスケットボール）等）を競技場またはテレビ等で観戦したと回答した成人及び児童生徒（小学５・中学２年生）の割合

※２「スポーツに関する市民意識調査」（富山市）において、運動やスポーツが友人や仲間との交流のために意義があると回答した成人の割合

報告事項

ＹＫＫ　ＡＰアリーナのオープンについて

資料２

１　利用時間及び休館日

区分	ＹＫＫ　ＡＰアリーナ	旧富山市総合体育館
利用時間	8 時 30 分から 22 時 30 分 ※日曜・休日問わず	9 時～21 時 30 分 ※日曜・休日は 19 時まで
休館日	12 月 29 日～１月３日	12 月 28 日～１月４日

２．改修の主なポイント

（１）B プレミア基準に対応

国内バスケットボールリーグ「B リーグ」の最高水準「B プレミア」基準に対応し、5,000 人を超える観客を収容できる観客席やスイートルームを整備。

（２）施設の長寿命化・バリアフリー化

天井の改修や空調・照明設備の更新などを行い、施設の長寿命化を図るとともに、多目的トイレの各階配置や車椅子対応エレベーターの新設などのバリアフリー化。

（３）快適な観戦・交流環境を整備

ラウンジの新設やセンターハングビジョンをはじめとする映像装置を整備し、観戦の快適性や演出性の向上。


第１アリーナ


スイートルーム



ラウンジ


フィットネスルーム

３　アリーナで提供されるスポーツプログラム

（１）運営事業者が実施

フィットネスルームの運営のほか、各種プログラムを実施

ア　スポーツ教室（バスケットボール、ヨガ、フラダンス、空手等）

イ　サークル（フレッシュテニス、バドミントン、スポーツ吹き矢等）

ウ　スタジオプログラム（ストレッチ、エアロビクス、ピラティス等）

※アリーナ会員に登録（初期費用 4,400 円）することで、各種教室への参加や会員料金でのプログラム利用など、会員向けサービスが受けられる。

（２）市スポーツ協会が実施

市スポーツ協会においても、世代別に２３のスポーツセミナーを実施。

４　その他のサービス（ラウンジの営業）

アリーナ１階の親水広場に面したエリアに整備されたラウンジは、平常時も営業を行い、ドリンクやアルコール、フードを提供するため、来街者の飲食や交流スペースとなる。

また、ラウンジ内の物販エリアでは、富山グラウジーズを中心に、アクアフェアリーズ、アランマーレなど、県内プロスポーツチームのグッズを販売するほか、県内の特産品等の販売。



ラウンジイメージ図

５　今後の主な興行イベント

令和８年 10 月　富山グラウジーズＢプレミア戦

TOYAMA ウイスキーフェス

11 月　東京ガールズコレクション

令和９年　４月　矢沢永吉コンサートツアー

上記のほか、KUROBE アクアフェアリーズ、アランマーレ富山の公式戦を開催予定

報告事項

資料３

今後のオールスターレガシー事業について

１　オールスターレガシー展の開催

（１）内　　容：オールスター当日の写真や試合で使用したボールやベースなどにより、オールスター富山開催を振り返る「レガシー」展を開催

（２）日　　程：令和８年１１月３日～９日

（３）場　　所：富山市民プラザ　２Ｆギャラリー

２　宝くじスポーツフェア「ドリーム・ベースボール」の開催

（１）内　　容：元プロ選手(20 名)を招き、地元選抜チームとの親善試合等を実施

（２）日　　時：１１月８日（日）９時～１５時頃

（３）場　　所：富山市民球場（雨天時：アイザックスポーツドーム）

（４）参加選手：桑田真澄氏、福留孝介氏、堀内恒夫氏　※他 17 名





＜詳細＞

